

## 水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年3月30日
タイトル	理事会で「スイゲンゼニタナゴ」の講演をしました！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成28年3月17日（木）水土里ネット福山の平成27年度 第3回理事会が開催され、理事会終了後に「スイゲンゼニタナゴ」について「スイゲンゼニタナゴを守る市民の会」事務局長の盈進学園 古本哲史先生から啓発のための講演を開催しました。

スイゲンゼニタナゴは、最も絶滅の心配が高いため『種の保存法』で国内希少野生動植物種に指定される貴重な魚で、広島県では芦田川水系にのみ生息が確認されています。

福山市では「芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会」が発足し、水土里ネット福山も利水者として協議会の一員となっています。

水土里ネット福山の理事、監事約30人が、理事会後の会場に残り講演を聞きました。



講演では、スイゲンゼニタナゴの特徴や生息場所、減少した経緯などが丁寧に説明されました。圃場整備や農業水利事業に伴い水路が改修され生息環境が変化し、現在では「芦田川用水」の農業用水路がスイゲンゼニタナゴの貴重な生息場所になっていることを話され、貴重な生体の特別展示に配慮くださり、理事・監事も熱心に講演を聞き、生きたスイゲンゼニタナゴを興味深く見せていただきました。

各関係機関と農業者が手を携えてスイゲンゼニタナゴを守っていこうと話され、講演を終わりました。

後日、地域で行われた会議では、水土里ネット福山の理事から「スイゲンゼニタナゴ」について水土里ネット組合員へ説明があり、水路浚渫をする時の注意事項などが話し合われました。早速、講演の成果がでていたと感じました。

水土里ネット福山では、スイゲンゼニタナゴの保全活動が21世紀土地改良区創造運動にも繋がることから保全活動に積極的に取り組むとともに、疏水の素晴らしさ、豊かさを発信していきたいと思えます。